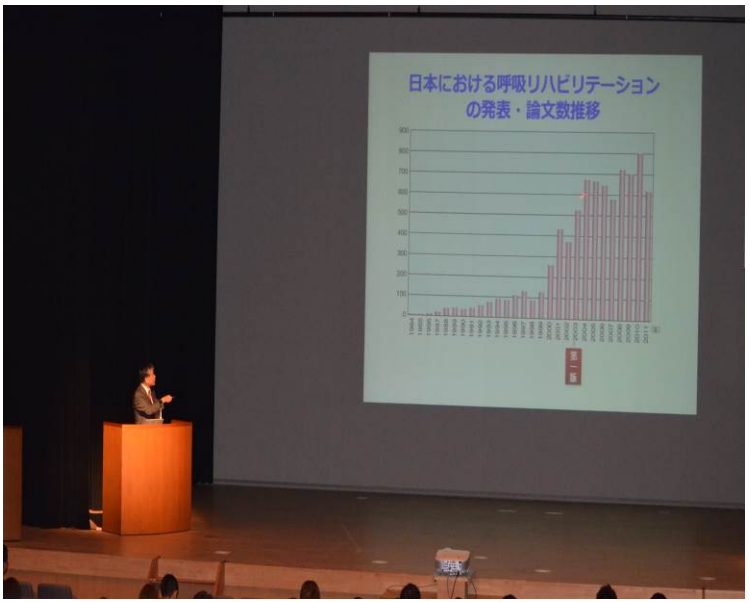
平成 25 年度 第 1 回公開講座報告（学術局 研修部）

平成 25 年 6 月 16 日(日)に行われた平成 25 年度第 1 回公開講座について報告させて頂きます。

今回は JR 岐阜駅隣りのじゅうろくプラザにて長崎大学の千住秀明先生をお招きし「呼吸リハビリテーション - 課題と展望 - 」という演題で講演して頂きました。千住先生は、呼吸リハビリテーション入門や呼吸リハビリテーションマニュアルなど執筆活動も多く、呼吸リハビリテーションの第一人者としてご活躍されております。

講演は、「呼吸リハビリテーションの歴史」、「呼吸リハビリテーションの現状」、「運動療法の目的、処方」、「呼吸リハビリテーションの今後の展望」など盛りだくさんの内容でとても分かり易く展開されていきました。

講演の中で、呼吸リハビリテーションにおけるコンディショニングは、運動療法を効率的に行うために、身体の状態を整えるためのプログラムであること、運動療法の導入や遂行を円滑にしたり、運動中の呼吸困難をコントロールして運動強度を高めることを目的として位置づけられているというお話がありました。また、新しいコンディショニングの考え方としては、①身体的な介入、②メンタル面の介入（モチベーション向上、運動に対する不安感軽減）、③薬物療法の介入（呼吸機能の改善、必要例における運動療法前の SABA 吸入）などがありました。そして、呼吸リハビリテーションの 5 年後の目標と方策として、慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者へのリハビリ実施率 80%以上とすること、コンディショニングの科学的根拠の確立、維持のための運動療法手法の開発などが挙げられました。



最後には、千住先生自身が呼吸リハビリテーションから学んだ事として、PT の将来は個々の PT の活動にかかっている。「～が何もしてくれないではなく、自分は何ができるか」が重要であるという力強いお言葉を頂き、気を引き締め直すきっかけとなりました。

今回は県内外の PT 会員、他職種合わせて 350 名近くの方が参加してくださいました。運営スタッフも不慣れなため、皆様にご迷惑をおかけした点がありましたら、お詫び申し上げます。

最後に貴重な時間をさいて講演して頂きました千住先生、準備に携わってくれた研修部スタッフの皆様、準備や後片付けを手伝ってくださいました会員の皆様、誠に有り難うございました。

学術局研修部 部員
JA 岐阜厚生連　東濃厚生病院　宮平愛利